

平成23年6月

平成23年度港湾海洋調査士認定試験受験案内

社団法人 海洋調査協会

I 港湾海洋調査士とは

1. 港湾海洋調査士

港湾および港湾海岸に係る調査において、調査の成果の利用範囲は広くしかも公共性が高く、その内容は細分化が進み高度化しています。また特殊な作業環境における業務であることから、作業の安全および所定の測定精度を確保することが重要な課題です。

平成8年度、社団法人海洋調査協会では、良質の調査成果を確保するとともに調査技術者の地位の保全・向上を図るために「港湾海洋調査士」認定制度を創設しました。以来、年々港湾海洋調査士が誕生し、現在、資格取得者は、約1,200名となりました。

「港湾海洋調査士」は、国土交通省港湾局編集の「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」において、港湾および港湾海岸に係る調査に関し、業務全体を指揮・監督し、調査計画を作成し、実施内容の確認、データの解析・考察を行う管理技術者、照査技術者として担当できる資格であると位置づけられるなど高い評価を受けています。

2. 港湾海洋調査士補

港湾海洋調査士補は港湾および海洋の調査に関する一定の知識があることを認定する資格です。これから実務経験を積んで港湾海洋調査士を受験するために必要な資格です。

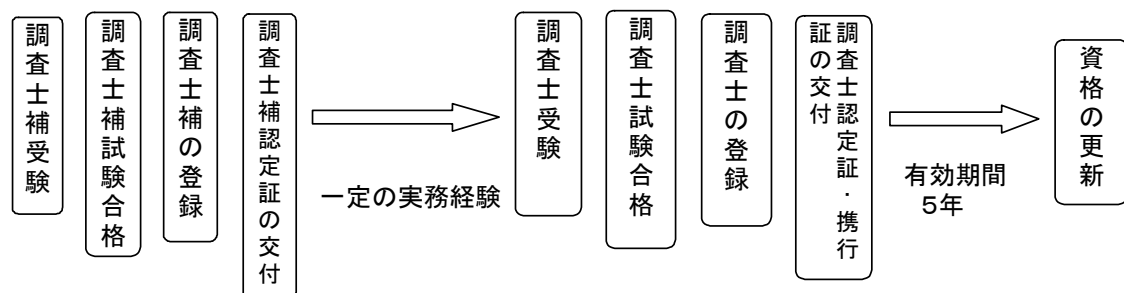
3. 部門

港湾海洋調査士は、次の5部門があります。

- 1) 深浅測量（水域施設などの深浅測量）
- 2) 危険物探査（磁気探査、潜水探査）
- 3) 土質・地質調査（土質・音波探査）
- 4) 環境調査（水質・底質、生物調査、流況調査）
- 5) 気象・海象調査（気象、波浪、潮位、流況調査）

4. 港湾海洋調査士の認定を受けるまで

港湾海洋調査士の認定を受ける流れは次のとおりです。



5. 有効期間と認定の更新

港湾海洋調査士の有効期間は5年間です。資格を更新するためには、日頃から研修や講習を受け、実務を積み重ねるなど、研鑽を積んでいただく必要があります。また、研鑽の結果はCPDポイントとして日々登録していくことが必要です。

II 平成23年度 港湾海洋調査士補の受験

1. 港湾海洋調査士補の受験資格

港湾海洋調査士補を受験するためには、特別な要件を必要としません。

2. 試験内容

港湾海洋調査士補試験

港湾工学、関連法規(港湾局)、関連法規(海上保安庁)、安全管理、気象概論、海洋調査概論
各科3問～7問 計 25問 (選択式)

参考： 「試験内容および参考資料」が巻末にあります。

3. 試験日時

10月6日(木) 17:00～17:50 港湾海洋調査士補認定試験

4. 試験会場

東京セミナー学院

東京都豊島区西池袋5-4-6 Tel. 03-3982-0191

池袋駅西口から徒歩約4分。(添付地図参照)

5. 受験料

1) 受験料

8,000円 (消費税を含む)

2) 受験を取り止める場合の受験料の取り扱い

10月3日17:00までにFAX、郵便等の書面またはメールで連絡があれば、後日、事務費2000円を差し引き受験料を返却します。調査士補受験を取り止める旨の記述と氏名、受験番号を記述して下さい。これ以降の連絡、あるいは連絡のない欠席については受験料を返却しません。電話あるいは口頭での連絡は受け付けません。

6. 受験申込

1) 受付期間

申請書類等の受付 7月4日(月)～7月29日(金) 必着のこと

受験料等の払い込み 7月4日(月)～7月29日(金) 当日払い込み有効

2) 受験願書等

港湾海洋調査士補受験希望者は、受験願書等を海洋調査協会のホームページよりダウンロードし、以下に示す書類を作成のうえ、提出して下さい。

港湾海洋調査士補 受験書類等		チェック
港湾海洋調査士補認定試験受験願書 受験票	写真(ﾀﾞ4.5cm×ヨ3.5cm)貼付、本人印	
定形封筒(送付先記入、80円切手貼付)	1通 (試験結果通知用)	
A4サイズ封筒(送付先記入、140円切手貼付)	2通 (受験票送付用、認定証等送付用)	

3) 受験料等の払い込み方法

申込み手続きとともに、下記払込先に受験料を払い込み下さい。同時に研修を受ける方は受験料と研修受講料を合わせて払い込み下さい（研修についてはIV港湾海洋調査士研修会参照）。郵便局備え付けの青色の「払込取扱票」を使用し、払込手数料（送金料）は受験者が負担して下さい。

払込用紙の通信欄に、「補受験」と記述するとともに研修内容を記入して下さい。

（記入例 補受験、研修： イ ）

（研修受講内容と記入記号）

専門および共通研修を受講	ア
共通研修のみを受講	イ
専門研修のみを受講	ウ

払込先： 加入者名 社団法人 海洋調査協会
口座番号 00130-3-401497

7. 受験票の送付と受験

手続きが完了しましたら受験票を送付します。

受験票を持参の上、受験して下さい。

8. 合格通知と登録

港湾海洋調査士補の試験結果については、平成23年11月頃、海洋調査協会ホームページに合格者受験番号を発表するとともに、受験者に通知します。

合格者については、登録手続き完了後、平成23年12月頃、認定証を交付します。

港湾海洋調査士補の登録には登録料が必要です。

港湾海洋調査士補 登録料 5,000円（消費税を含む）

Ⅲ 平成23年度 港湾海洋調査士の受験

1. 受験資格

1) 港湾海洋調査士を受験するためには、次の3条件を全て満たすことが必要です。

条件① 港湾海洋調査士補の資格を有すること、または、他部門の港湾海洋調査士の認定を受けていること。

条件② 3) 項で示す実務経験評価期間内で 2) 項で示す受験に必要な実務経験ポイントがあること。

条件③ 港湾海洋調査士補の資格を取得した試験の実施年度を含め、大卒で5年以上、その他で8年以上経過した年度に受験すること。

他部門の港湾海洋調査士の認定を受けている者は、条件③における「港湾海洋調査士補」を「他部門の港湾海洋調査士」と読み替えることができる。

移行措置として、平成20年度、平成21年度、平成22年度のいずれかに港湾海洋調査士補の資格を取得した者に対して、**条件③**は、免除される。

2) 受験に必要な実務経験ポイント（海洋調査協会CPD）

大卒： 1年間に30ポイント以上で5年間の、受験部門の実務を含む実務経験が必要。

その他： 1年間に30ポイント以上で8年間の、受験部門の実務を含む実務経験が必要。

注： 年の区切りは、年度で行う。

なお、1年で30ポイントに満たないが、連続する2年で30ポイント以上になる場合は、その2年を1年の実務経験と見なすことができる。

3) 実務経験評価期間と条件

受験年度より10年前の年度の実務経験から評価し、受験年度より2年前の年度以後の経験が含まれること。

注： 港湾海洋調査士の受験資格としての実務経験は、港湾および海洋におけるものを対象とします。従って、道路等の陸上危険物探査や港湾区域外の河川・湖沼の調査は、実務経験と認められません。

2. 試験内容

試験の内容は次表のとおり。

選択解答試験	<p>問題型式： 選択式</p> <p>深淺測量部門： 計12問</p> <p>危険物探査部門： 計12問（磁気探査6問，潜水探査6問）</p> <p>土質・地質調査部門： 計12問（土質調査6問，地質調査6問）</p> <p>環境調査部門： 計12問（水質・底質調査4問，海洋生物調査4問，流況調査4問）</p> <p>気象・海象調査部門： 計12問（潮位調査4問，波浪調査4問，流況調査4問）</p>
論文記述試験	<p>主題は、800字程度、副題は、600字程度で記述する。主題と副題は異なる分野から選択する。受験部門毎の分野は次のとおり。</p> <p>深淺測量部門： 深淺測量（外業）など、計画資料整理（内業）など</p> <p>危険物探査部門： 磁気探査、潜水探査</p> <p>土質・地質調査部門： 土質、地質</p> <p>環境調査部門： 生物、水質・底質、流況</p> <p>気象・海象調査部門： 潮位、波浪、流況</p>

口頭試問	15分程度の口頭試問
------	------------

参考： 「試験内容および参考資料」が巻末にあります。

3. 試験の一部免除

保有している資格等によって試験の一部免除規定があります。下表に示す資格の保有者に対し、該当する部門の試験を免除します。

表 保有資格と港湾海洋調査士試験における試験免除一覧表

調査士部門 保有資格	深浅測量	危険物探査	土質・地質 調査	環境調査	気象・海象 調査
水路協会 沿岸1級	筆記試験				筆記試験
水路協会 港湾1級	筆記試験				
水路協会・海洋調査協会共催 沿岸海象調査研修 「水質環境」コース				筆記試験	
同上 「海洋物理」コース					筆記試験
前年度論文記述試験合格者 で、同部門受験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験
前年度選択解答試験合格者で 同部門受験	選択解答 試験	選択解答 試験	選択解答 試験	選択解答 試験	選択解答 試験

注) 筆記試験＝選択解答試験＋論文記述試験

4. 試験日時

10月7日(金)

港湾海洋調査士認定試験

第1試験会場(筆記試験)

0900 開場

0920～0950 選択解答方式の筆記試験

1000～1130 論文記述方式の筆記試験

第2試験会場(口頭試問)

1000～1130 (この時間に試験する場合、あらかじめ受験者に連絡します。)

1230～1700

5. 試験会場

東京セミナー学院

東京都豊島区西池袋5-4-6 Tel. 03-3982-0191

池袋駅西口から徒歩約4分。(地図参照)

6. 受験料

1) 受験料

港湾海洋調査士 受験料 20,000円 (消費税を含む)

試験免除の有無にかかわらず一律です。

2) 受験を取り止める場合の受験料の取り扱い

10月3日17:00までにFAX、郵便等の書面またはメールで連絡があれば、後日、事務費5000円を差し引き受験料を返却します。調査士受験を取り止める旨の記述と氏名、受験番号を記述して下さい。これ以降の連絡、あるいは連絡のない欠席については受験料を返却しません。電話あるいは口頭での連絡は受け付けません。

7. 受験申込

1) 受験申請書類の提出

平成23年7月4日(月)～7月29日(金) (必着)

提出先: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-8-6 日本橋ビル3f
社団法人 海洋調査協会 t e l 03-5640-0373

2) 受験料払込

平成23年7月4日(月)～7月29日(金) (当日払込有効)

3) 申請に必要な書類

港湾海洋調査士受験希望者は、受験願書等を海洋調査協会のホームページからダウンロードして、以下に示す書類等を作成の上、提出して下さい。

港湾海洋調査士 受験申請に必要な書類等		チエック
港湾海洋調査士認定試験受験願書 受験票	写真(ﾀ4.5cm×3.5cm)貼付、本人印	
最終学歴および保有資格等調書	本人印	
港湾海洋調査士認定試験受験免除申請書 注1	本人印	
実務経歴の受験資格予備審査 報告書 注2	CPD登録ソフトから印刷	
実務経歴書 様式2 一覧表 注2	CPD登録ソフトから印刷	
実務経歴書 様式3 実務経歴シート 注2	CPD登録ソフトから印刷。本人印、証明者印。	
上記様式3の業務に対応した 調査職員通知書 および担当技術者通知書の写し等		
写真 (裏面に氏名、生年月日記入)	受験票に添付したものと同一もの	
定形封筒(送付先記入、80円切手貼付)	1通 試験結果通知用	
A4サイズ封筒(送付先記入、140円切手貼付)	2通 受験票送付用、認定証等送付用	

注1 試験の免除を申請しない方は不要です。

注2 「港湾海洋調査に関する実務経歴書」は、海洋調査協会CPD登録プログラムを用いて、パソコンで作成し、このソフトで予備審査を行い(ソフトが自動的に予備審査を実施する)、印刷し、捺印し、提出して下さい。

注3 実務経歴については口頭試問において内容を問うので、正確に書く作成すること

4) 受験料等の払い込み

申請書類の提出とともに受験料（研修受講者は受講料と合わせて）を払い込みして下さい。
郵便局に備えてある青色の「払込取扱票」を使用して受験料（および受講料）を振り込んで下さい。払込料金（送金料）は受験者が負担して下さい。

なお、「払込取扱票」の通信欄に受験内容、分野および研修内容、部門を次の例のように記載して下さい。

（ 受験と受講する方の記入例 試験： 土（土質）， 研修： ア（土質） ）

（研修受講内容と記入記号）

専門および共通研修を受講	ア
共通研修のみを受講	イ
専門研修のみを受講	ウ

（受験部門と記入記号）

深淺測量	深淺
危険物探査	危険物
土質・地質調査	土質
環境調査	環境
気象・海象調査	気象

払い込み先

払込取扱票に記入する払込先は次のとおりです。

口座番号： 00130-3-401497

加入者名： 社団法人 海洋調査協会

8. 受験票の送付と受験

申請書類および受験料受領後、書類審査を行います。必要書類および受験資格の確認が完了しましたら受験票を送付します。

試験当日、受験票を持参の上、受験して下さい。

なお、書類不備または受験資格が満たされていない場合は、後日、事務費5000円を差し引き受験料を返却します。

9. 合格の通知と登録および登録料

港湾海洋調査士の試験結果については、平成24年2月頃、海洋調査協会ホームページに合格者受験番号を発表するとともに、受験者に通知します。

合格者については、登録手続き完了後、平成24年3月、認定証を交付します。

港湾海洋調査士の登録料 10,000円 （消費税を含む）

IV 港湾海洋調査士研修会

1. 受講対象

港湾海洋調査士および港湾海洋調査士補を受験する方や港湾調査に関する専門的知識を修得したい方などを対象として研修会を開催します。

どなたでも受講できます。

2. 研修内容

1) 場所

東京セミナー学院 東京都豊島区西池袋5-4-6

池袋駅西口から徒歩約4分。(地図参照)

2) 日時

10月5日(水) 10:00 ~ 17:00 専門研修(終了時間は、部門によって異なる。)

10月6日(木) 09:00 ~ 16:40 共通研修

3) 研修科目

研修科目は次の表のとおりです。専門研修または共通研修のどちらか一方、あるいは専門および共通の両研修を受講することができます。専門研修において受講できるのは1科目だけです。

研修	研修科目	記入記号
専門研修 (10月5日)	深淺測量	深淺
	危険物探査	危険物
	土質・地質調査	土質
	環境調査	環境
	気象・海象調査	気象
共通研修 (10月6日)	港湾工学概論、関連法規(港湾関係)、関連法規(海上保安庁関係)、安全管理、気象概論、海洋調査概論	共通

注： 記入記号とは受講料の払い込みの際使用する記号です。

3. 受講料

1) 受講料

ア 専門研修および共通研修の受講

30,000 円、 但し、当協会会員は 15,000 円 (消費税を含む)

イ 共通研修のみ、ウ 専門研修のみの受講

20,000 円、 但し、当協会会員は 10,000 円 (消費税を含む)

2) 受講を取り止める場合の受講料の取り扱い

10月3日17:00までにFAX、郵便等の書面またはメールで連絡があれば、後日、事務費2000円を差し引き受講料を返却します。研修会受講を取り止める旨の記述と氏名、受講番号(受験番号)を記述してお送り下さい。これ以降の連絡、あるいは連絡のない欠席については受講料を返却しません。電話あるいは口頭による受講取り止めの連絡は受け付けません。

4. 受講申込

1) 申込書類の提出

試験・研修受講等の申請書類を海洋調査協会のホームページよりダウンロードし、以下に示す書類を作成のうえ、提出して下さい。なお、港湾海洋調査士/補受験者は、受験申請書類と研修

受講申込書受講票を同封して下さい。

研修会 受講申込書類等		チェック
研修受講申込書 受講票	本人印	
定形封筒（受講票送付先記入、80円切手貼付）	研修と同時に試験を受ける者は、この封筒は不要です。	

2) 受講料の払い込み

申請書類の提出とともに受講料（研修受講者は受験料と合わせて）を納入して下さい。

郵便局に備えてある青色の「払込取扱票」を使用して受講料（および受験料）を払い込み下さい。払込料金（送金料）は受講者が負担して下さい。

なお、「払込取扱票」の通信欄に受験内容、分野および研修内容、部門を次の例のように記載して下さい。受験部門および受講科目の記入記号は 2 研修科目の表を参照して下さい。

（ 研修受講と試験を受験する方の記入例 試験： 士（環境）、 研修： ア（環境） ）

（研修受講内容と記入記号）

専門および共通研修を受講	ア
共通研修のみを受講	イ
専門研修のみを受講	ウ

払い込み先

払込取扱票に記入する払込先は次のとおりです。

口座番号： 00130-3-401497

加入者名： 社団法人 海洋調査協会

5. 受講票およびテキスト

入金など手続きが完了しましたら受験票をお送りします。

受講票およびテキストを持参の上、受講して下さい。

テキストのうち協会発行のものは、いつでも購入できます。また、研修会当日販売致します。

なお、テキストについては本受験案内巻末の表をご覧ください。

6. CPDポイント

研修受講者には研修修了証が配布されます。修了証にはCPDポイントが記載されています。

ホームページでのご案内

平成22年度港湾海洋調査士認定試験に関しては、海洋調査協会のホームページでご案内しています。ホームページアドレスは、下記のとおりです。

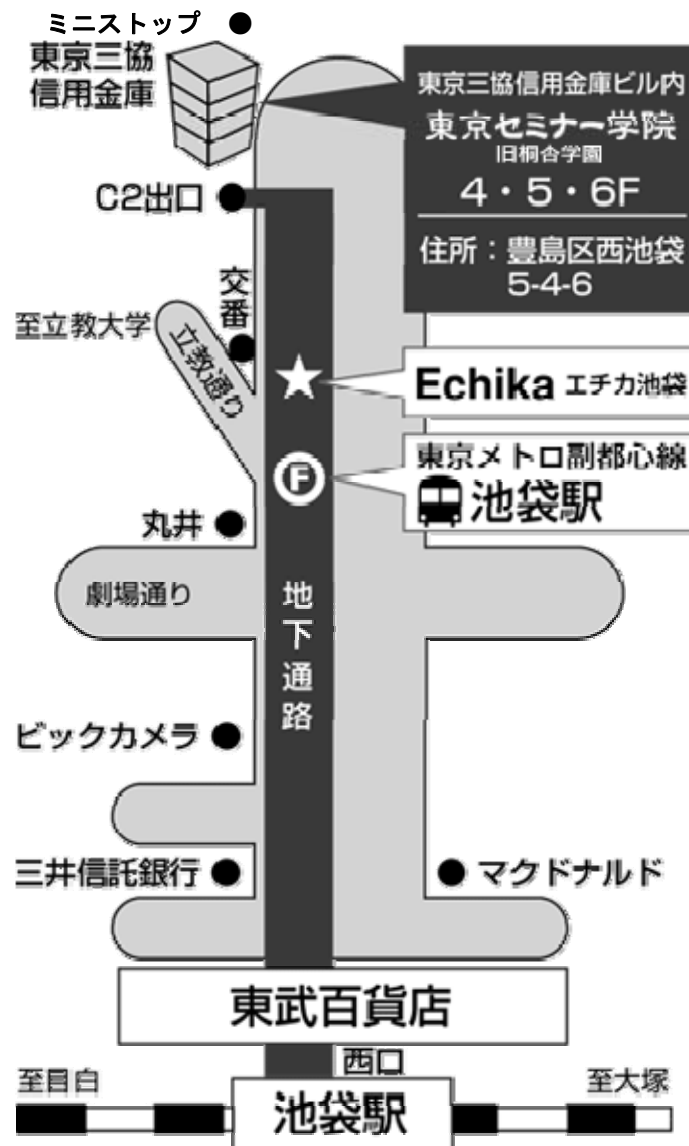
<http://www.jamsa.or.jp/>

また、質問は、下記のE-mailでも受け付けております。

jamsajamsa@jamsa.or.jp

社団法人 海洋調査協会 〒103-0023東京都中央区日本橋本町2丁目8番6号 日本橋ビル3F Tel 03-5640-0373 Fax 03-5640-0375
--

東京セミナー学院 案内図



☆ 東京セミナー学院 Tel. 03-3982-0191

JR池袋駅「改札中央1」または「改札中央2」より地下道を西口方面へ向かって下さい。

1. 地上からの場合

西口中央階段のエスカレータで地上に出て、正面の広い通りを直進して下さい。

2. 地下通路からの場合

そのまま有楽町新線池袋駅方面の地下道に入り、「C2 出口」より地上へ出て、道路に向かって左へ進んで下さい。

《参考》

スケジュール

7月4日～7月29日	受験および受講申込	
7月4日～7月29日	受験料および研修受講料の払込	
9月上旬	受験票・受講票の発送	
10月5日～7日	研修会・認定試験	
11月頃	港湾海洋調査士補 合格発表	
12月頃	港湾海洋調査士補 登録申請および登録料払込、認定証発行	
2月頃	港湾海洋調査士 合格発表 港湾海洋調査士 登録申請および登録料払込	
3月末	港湾海洋調査士認定証・携行証発行	

CPDポイントについて

- ① CPDポイントは各自で、CPD登録ソフトを用いて登録し、管理し、必要に応じて書類を作成します。CPD登録ソフトは当協会ホームページからダウンロードできます。インターネットに接続しているパソコンで使用して下さい。
- ② CPDポイントの登録は登録時の1年度前までのポイントのみ登録できます。
- ③ CPDポイントは登録とともに当該事象を証明する書類が必要です。港湾海洋調査士認定試験あるいは港湾海洋調査士認定の更新の際には、このソフトを用いて書類を印刷し、証明書類の写しを添付する必要があります。

表一1 海洋調査協会 実務経験 CPD単位と必要証明書類

実務内容	ポイント数	証明書類
管理技術者・同等責任者・照査技術者	2×業務日数	調査職員通知書の写し、管理(照査)技術者等通知書の写し 及び 所属長等の証明印付き書類
担当技術者・技術開発担当者	1.5×業務日数	調査職員通知書の写し、担当技術者通知書の写し及び 所属長等の証明印付き書類
担当技術者・技術開発担当者・補助者	1×業務日数	所属長等の証明印付き書類

注：調査職員：発注者側の担当者

証明印付き書類：CPD登録ソフトで打ち出した証明書を利用のこと。

表一2 海洋調査協会 教育 CPD単位と必要証明書類

教育内容	ポイント数	証明書類
港湾海洋調査士研修共通部門	20	海洋調査協会発行証明書
港湾海洋調査士研修専門部門	30	海洋調査協会発行証明書
講習会, 研修会等への参加 港湾海洋調査関係	2×参加時間	主催者の証明または上司の証明 (プログラム添付のこと)
講習会, 研修会等への参加	1×参加時間	主催者の証明または上司の証明 (プログラム添付のこと)
口頭発表(学術発表会)	30/異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
口頭以外の発表者(学術発表会)	20/異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
論文発表(学術雑誌への査読付き論文発表)	30/異なる講演内容	発表論文の写し
論文発表(一般論文, 総説等)	20/異なる講演内容	発表論文の写し
技術図書の執筆	0.5×刷上ページ数	図書の表紙及び著者名のページの写し
大学・学術団体等での講演	20/異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
技術会議への出席(議長や委員長の場合)	2×参加時間	委嘱状と開催案内の写し
技術会議への出席(委員や幹事の場合)	1×参加時間	委嘱状と開催案内の写し

チェック項目（港湾海洋調査士を受験される方）

1. **実務経験は正確に書いて下さい。**

実務経験は正確に書いて下さい。提出された実務経験について口頭試問で内容を聞きます。

2. **実務経験は、海洋または港湾におけるものですか。**

陸上あるいは内水（港湾区域を除く）での調査は海洋調査の実務経験と認められません。調査名あるいは発注者名に港湾あるいは海洋を対象としている記述がない場合は、海洋調査であることを示す資料を添付して下さい。

3. **実務経験を証明する書類が添付されていますか。**

特に、管理技術者として登録する場合は、それに見合った書類が必要です。

4. **実務経験を上司が証明する場合、印鑑は公印（決裁権者の印、通常は社長印か支店長印）ですか。**

私印での証明は無効です。

5. **受験する分野の実務経験が含まれていますか。**

6. **21年度あるいは22年度の実務経験がありますか。**

7. **各年度30ポイント以上の実務経験ポイントがありますか。**

大卒は5年以上、それ以外は8年以上の年度について30ポイント以上必要です。

8. **本人印を忘れていませんか。**

受験願書受験票、最終学歴および保有資格等調書、受験免除申請書、実務経歴書様式3 実務経歴シート、研修受講申込書受講票には本人印が必要です。

試験内容および参考資料

港湾海洋調査士試験の試験内容および参考となる資料を下表に記述します。この内容は、試験問題作成方針や過去の問題から想定したもので、必ずしも今回の試験と一致するものではありません。あくまで参考としてご覧下さい。

試験	試験分野	試験内容	参考資料
港湾海洋調査士補 試験	港湾工学	港湾の知識、設計の基礎	
	関連法規（港湾局）	港湾法、受注手続き、守秘義務、技術者倫理、	港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書*1
	関連法規（海上保安庁）	海上保安庁法、水路業務法、海上衝突予防法、港則法、海上交通安全法、海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律（各法律の中で海洋調査の実施に関係の深い規定）	左記法律等 水路測量関係規則集
	安全管理	海洋調査作業の安全（船舶職員および小型船舶操縦者法および海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律の中で海洋調査作業の安全に関係の深い規定、安全心得、調査計画・準備、作業船の要件、安全対策、海上作業時の一般的注意事項等）	港湾海洋調査安全管理指針、安全手帳*2
	気象概論	調査方法、気象業務法、気象の知識	(マ) 気象・海象調査編
	海洋調査概論	海洋調査業務とは。海洋に関する基本法（国連海洋法、海洋基本法）、海洋調査技術に関する基礎知識（海上測位・GPS、測深、観測方法、基準面、海図）、海洋に関する基礎知識と情報の入手方法（水温・塩分、潮汐、波浪、海流、その他）	同左の法律等、 (マ)気象・海象調査編
港湾海洋調査士 試験	深浅測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択解答試験、論文記述試験： 専門分野の知識 ・ 口頭試問： 専門分野の知識、実務経験等 	(マ) 深浅測量編 水路測量関係規則集
	危険物探査		(マ) 危険物探査編
	土質・地質調査		(マ) 海洋地質調査編
	環境調査		(マ) 水質・底質調査編 (マ) 海洋生物調査編 (マ) 気象・海象調査編
	気象・海象調査		(マ) 気象・海象調査編

注：*1 国土交通省港湾局編集、日本港湾協会発行

*2 海洋調査協会発行（2冊とも）

(マ) 海洋調査技術マニュアル（海洋調査協会発行）

研修テキスト

下表に研修で使用するテキストを示します。
 この他にテキストや資料が配布されることがあります。

共通研修		港湾関係規定・法令 港湾工学概論・港湾調査概論 海上保安庁所管法令 安全管理 気象 海洋調査概論	共通研修のテキストは研修当日配布します
専門研修	深淺測量	海洋調査技術マニュアル深淺測量編 水路測量関係規則集	
	危険物探査	海洋調査技術マニュアル危険物探査編	
	土質・地質調査	海洋調査技術マニュアル海洋地質調査編	
	環境調査	海洋調査技術マニュアル海洋生物調査編 同 水質・底質調査編 同 海象・気象調査編	
		気象・海象調査	海洋調査技術マニュアル海象・気象調査編

注：海洋調査技術マニュアルおよび水路測量関係規則集は海洋調査協会で販売しています。